EndNote basic(応用編)





EndNote

- EndNote basic 操作方法(応用編)
 - 1. 参考文献リスト作成方法(プラグイン利用) 共有文献の引用 参考文献スタイルの変更 引用した文献のリスト削除 Wordマクロを取り除く方法 参考文献リストのレイアウト変更 Wordプラグインを使わず参考文献リストを作成する方法 文献リストのみの出力 文献情報のファイル出力
 - 2. Manuscript Matcher (一致) 機能の利用方法 (New!!)



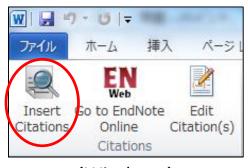
参考文献リストの作成

文献リストを出力する方法(1)

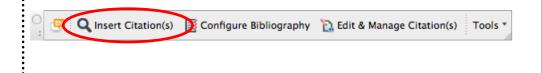
Word上の EndNote の機能で、ウェブアカウントに保存した文献情報 を検索し、引用挿入する

〈操作手順〉

① Word上の EndNote の機能から、下記のアイコンをクリック



(Windows)



(Macintosh)

- ② 出現する画面上部の検索欄に、EndNote から引用挿入する文献情報のキーワードを入力し、[Find]ボタンをクリック
- ③ ヒットした文献情報が一覧表示されるので、引用挿入する文献情報を選択
- ④ 画面下部の [Insert]ボタンをクリック



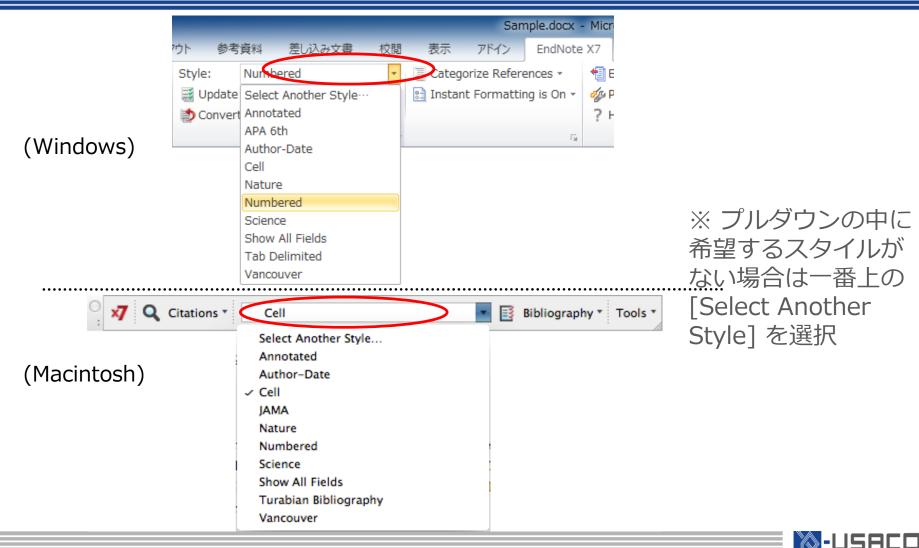
共有文献を引用する方法





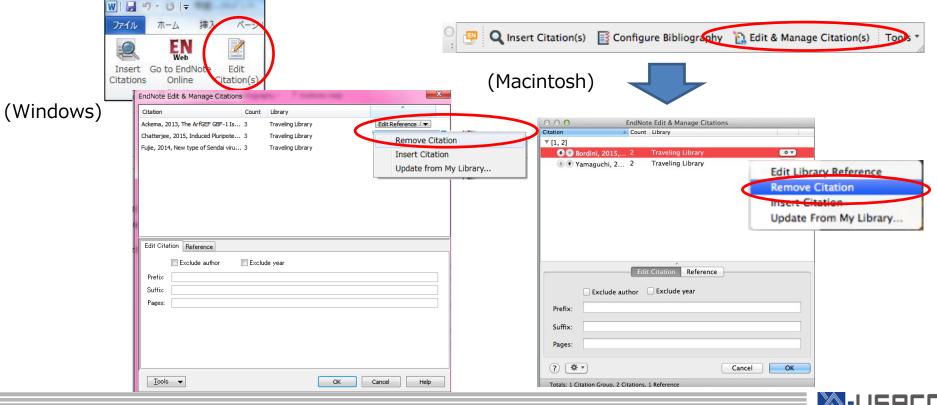
スタイルを変更する方法

方法:プルダウンからスタイル(主に投稿先の雑誌名)を選択



引用挿入した文献情報の削除方法①

[Back Space]キーや [Delete]キーで EndNote の出力部分を削除すると、正常に削除されず、Wordファイルに異常をもたらす場合があります。EndNote の CWYW機能を利用して削除してください。

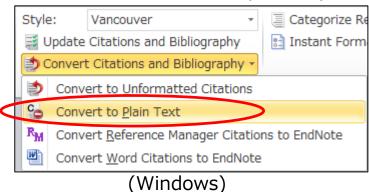


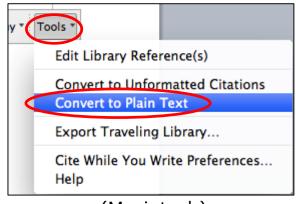
投稿前に EndNote のWordマクロを取り除き、 出力部分を Plain Text にする

EndNote から出力されている文字情報は EndNote と連携されており、手入力で編集を加えても EndNote の機能で元に戻ってしまいます。Wordファイルを出版者等に提出する前に下記の操作で連携を切ってください。

〈操作手順〉

- ① 文書ファイルを保存します。
- ② Word上の EndNote X7 の機能から下記を選択





(Macintosh)

- ③ 出現する画面で [OK] を選択
- ④ EndNote との連携が切れた文書ファイルが新規作成される
- ⑤ 新規作成された「④」の文書ファイルを名前を付けて保存する (①で保存した、連携が残っている Word ファイルも大切に保存しておく)
 - ※ 一度 EndNote の出力部分の連携を切ると、再度連携させることはできません。 引用文献を追加・削除するなど、EndNote の機能を利用する場合は、EndNote との 連携が残っているファイルをご利用ください。



引用挿入した文献情報の削除方法②

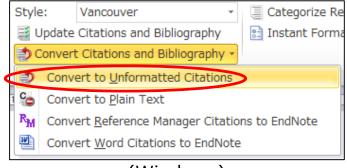
アンフォーマットの状態にしてから文字情報として削除します。

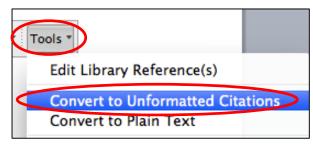
※ この方法では、引用した文献情報をまとめて削除できます。

〈操作手順〉

Copyright(C) 2015 USACO

- ① 文書ファイルを保存します。
- ② Word上の EndNote の機能から下記を選択





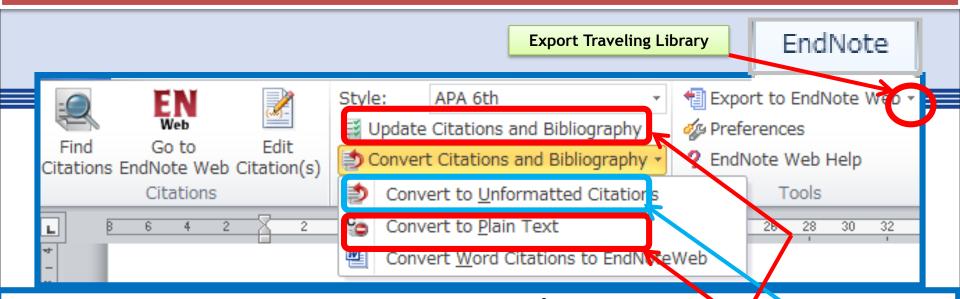
(Macintosh)

(Windows)

- ③ 文献リストが消え、本文中の引用部分が下記の形になる {Author, Year Title}
- ④ 削除したい文章や段落を [Back Space] や [Delete] で削除
- ⑤ Update Citations ans Bibliographyをクリックすると、再フォーマットされる

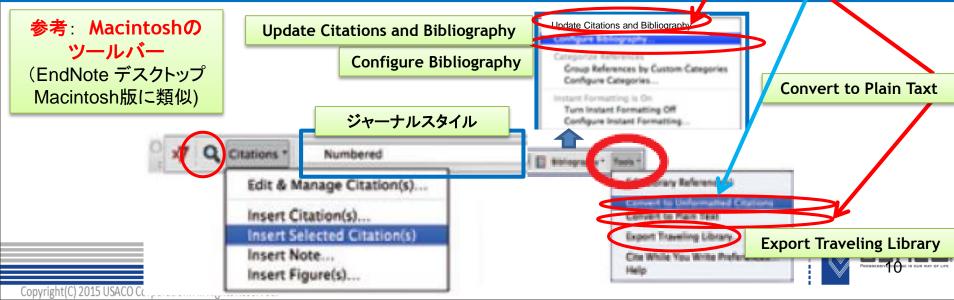


MS-Word画面におけるその他のEndNote basicメニュー

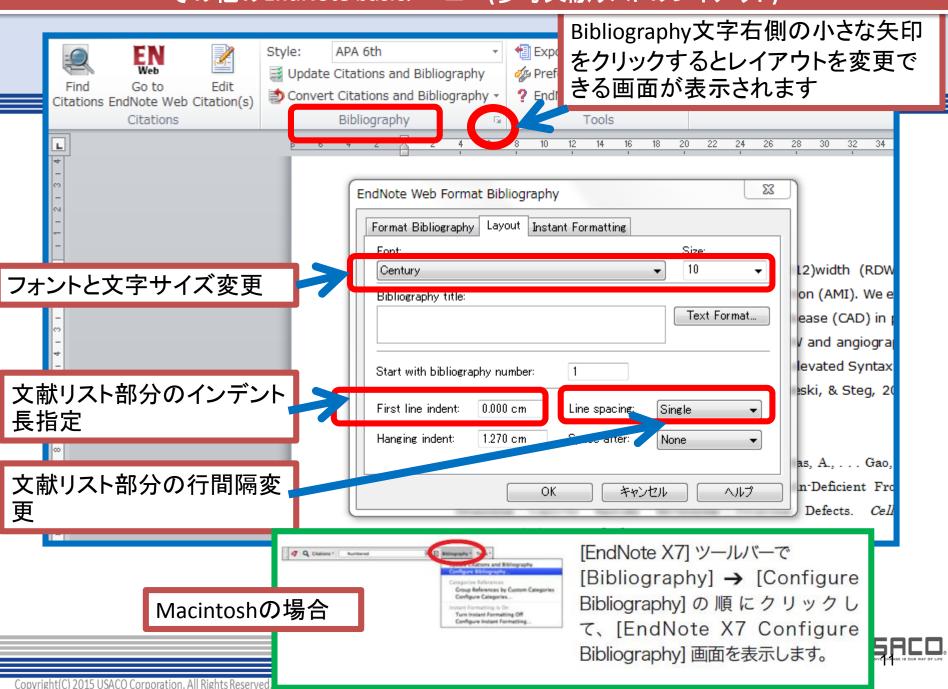


Update Citations and Bibliography
Convert to Unformatted Citation
Convert to Plain Text

文献リストアップを強制実行します。 文献リストアップを行う直前状態に戻します。 Wordマクロ書式を取り除いて普通のテキスト文にします



その他のEndNote basicメニュー(参考文献リストのレイアウト)

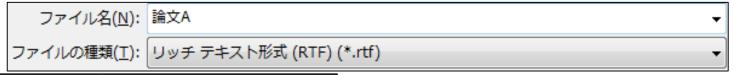


参考文献リストを出力する方法(Wordアドインを使わない方法)

プラグインをインストールしないで、Word上に文献リストを作成

〈操作手順〉

- ① Word上の文献を引用したい箇所に、下記のように文献情報を入力 {Hasegawa, 2013}
- ② Wordファイルを名前を付けて保存し、[ファイルの種類:] を「リッチテキスト形式 (RTF) (*.rtf)」に設定





- ③ EndNote basic の画面にて、[フォーマット] →[引用文献のフォーマット]を選択
- ④ [ファイル:]欄から、上記「②」で保存したファイルを選択
- ⑤ [書誌スタイル:]欄から投稿先の雑誌名などを選択
- ⑥ [フォーマット]ボタンをクリック
- ⑦ 作成されるファイルを保存し、開くと参考文献リストが作成されている

文献リストを出力する方法



- ① EndNote basic の画面にて、[フォーマット]→ [文献リストの作成]を選択
- ② [レファレンス:]欄から、文献リストを作成したいグループを指定
- ③ [書誌スタイル:]欄から投稿先の雑誌名などを選択
- ④ [ファイル形式:]欄にて [HTML]を選択
- ⑤ [プレビュー & 印刷]ボタンをク リック
- ⑥ ポップアップでプレビューが表示



取り込んだ文献情報をエクスポート

・他のソフトに文献情報を移すこともできます。



〈操作手順〉

- 画面上部のタブの [フォーマット]
 から [エクスポート] を選択
- |② [レファレンス:]欄からエクスポート | する文献情報のグループを選択
- ③ [スタイル:]欄から、出力する形式を 選択
- ④ [保存]ボタンをクリックすると、 ファイルを保存
- ⑤ 他のソフトから上記「③」の形式の ファイルを取り込む
- ※ 他のソフトから EndNote basic に データ取り込むには、他のソフトにて データをファイルに出力し、P.20の 操作でそのファイルを取り込む



Manuscript Matcher (一致)機能

Manuscript Matcher (一致) 機能

・EndNote basic では情報の主要部分(タイトル、抄録、レファレンス)を使用して、原稿に適したジャーナルを検索できるように支援します。
〈操作手順〉



- ① 画面上部のタブから [一致] を選択
- ② タイトル欄に作成している論文のタ イトルを入力
- ③抄録欄に作成している論文の抄録を入力
- ④予めグループ分けしておいた引用文献 のグループを選択 (※須ではありませくが引用文献情報を
- (必須ではありませんが引用文献情報を 含めることで精度がアップします。)
- ⑤[ジャーナルを検索]をクリック



Manuscript Matcher (一致) 機能

・入力された情報から原稿に適したジャーナルのリストが表示されます。



- ①一致スコアの高い順に ジャーナルが表示されます。
- ②各ジャーナルのインパクト ファクターも表示されます。
- ③ジャーナルの詳細情報が表示されています。
- ④類似の論文を確認すること が出来ます。
- ⑤[ジャーナル情報]をクリックするとそのジャーナルの HPへ、[送信]をクリックすると論文受付画面へ移動します。



まとめ

EndNote basic まとめ

★フルテキストPDF など各種ファイルを文献情報と一元管理★

- オンラインデータベースなどから**必要な文献情報を取得し、保存**
- PDFやその他ファイルを文献情報に添付・管理
- グループ分け機能で、収集した**文献情報を分類管理**
- 文献情報を投稿規定に沿った形式で Word に出力
- Manuscript Matcher (一致) 機能で**投稿する雑誌を選定**